

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	37	入居者主体のケアを意識はしているが、職員側の決まりや都合を優先してしまうことがある。また、利用者の行動や言動を制止してしまう声のかけも見受けられる。	一人ひとりのペースを大切にし、日常の中で自己決定が出来るような声のかけや関わりを行っていく。	・不適切な声がけに注意し、不適切な言動がみられたら職員同士で声を掛け合っていく。 ・しっかりとしたアセスメントを行い、個々の力の発揮、楽しみが得られるようにする。	12ヶ月
2	34	災害被害が大きくなっている今、入居者の安全を守ることが大事だと考えられる。また、コロナ発生時の対応等、昼夜いつ変事が起きても動けるようにしておかなければならない。	災害や感染症対応を学び実践に活かせるようにする。	・定期的な訓練を開催し、その反省をスタッフ会議で周知していく。 ・簡単な図や文章を用いて、見える場所に掲示する。	12ヶ月
3	48	コロナ禍の為、日常的な外出が出来ない状況にある。また、面会も出来ずストレスを抱えている。	感染状況を踏まえながら、短時間の外出や気分転換になる楽しみを企画する。	・個別でのドライブや散歩等を行う。 ・ホーム内での楽しみの企画。(例:入浴の日、料理の日、レクリエーションの日)等、特別な日を設ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。